農林水産省登録 第23474号

フルミオキサジン水和剤

除草剤分類 14



芝休正期に使う

- 除草反応が速い
- 氏薬量で効果! (一年生広葉)
- 氏温下でも 安定した効果

∴顆粒 水和剤





インターパワー

農林水産省登録 第23474号 剤型:顆粒水和剤 成分:フルミオキサジン 50.0% 性状:淡褐色水和性細粒 毒性:普通物(毒劇物に該当しないものを指していう通称) 包装:200g(5g×40包)

■適用雑草と使用方法

作物名	適用雑草名	使用時期	使月	用量	使用方法	総使用	
TF初石	週用粧早石 	使用时期	薬量	希釈水量	使用力压	回数*	
日本芝	一年生広葉雑草	芝生育休止期 (雑草発生初期)	0.004~0.005 g/m²			20	
	一年生雑草 多年生広葉雑草	芝生育休止期 (雑草生育期)	0.08~0.12	100~200 ₪/mੀ	雑草茎葉散布 又は 全面土壌散布		
	スズメノカタビラ	芝生育休止期 (雑草発生初期)	g/mt				

※印は、本剤及びその有効成分を含む農薬の総使用回数の制限を示す。

除草効果(無処理に対して)

極大: ●: 残草量が0% 極大: ◎: 残草量が1~5% 大 :○:残草量が6~10% 中 : □:残草量が11~30% 小 :△:残草量が31~50%

無 :×:残草量が51%以上

■ 殺草スペクトラム [自社試験及び(公財)日本植物調節剤研究協会委託試験]

薬剤名	処理薬量	水量	発生初期											生育期
			キク科		ナデシコ科**		オオバコ科**		シソ科**	フウロソウ科**	マメ科**		イネ科**	キク科**
			ウラジロ チチコグサ *	マメ カミツレ **	オランダミミナグサ	コハコベ	オオイヌノフグリ	マツバウンラン	ヒメ オドリコ ソウ	アメリカフウロ	コメツブ ツメクサ	カラスノエンドウ	スズメノカタビラ	ヒメ ジョオン ***
ウィンター	0.004g	100ml	ND	•	□~●	•	□~●	◎~●	0	•	•		△~●	□~○
	0.004g	200ml	ND	•	○~●	•	○~●	○~●	0	•	•		△~●	0
	0.005g	200ml	•	•	○~●	•	○~●	•	◎~●	•	•	•	□~●	0
対照剤A	0.06ml	150ml	•	•	○~●	□~●	○~●	•	•	□~●	•		□~●	•

- * 自社試験/薬剤処理は雑草発生初期:2葉、温室ポット試験、展着剤加用、実施2018年
- ** 委託試験/薬剤処理は雑草発生初期:~3葉、芝生育休止期:1~2月、展着剤加用、実施2018~2019年度
- *** 但し、ヒメジョオンは雑草生育期(4~6葉)

·ND:試験未実施

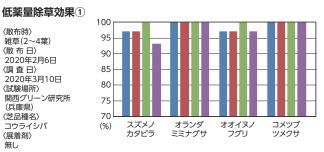
■ウィンターパワー(薬量0.004a/散布水量0.12/m) ■ウィンターパワー(薬量0.004a/散布水量0.22/m)

■ウィンターパワー(薬量0.005g/散布水量0.2l/m) ■対照剤A(薬量0.06ml/散布水量0.15l/m)

・低薬量では雑草生育ステージで除草効果が異なる

試験成績 [(公財)日本植物調節剤研究協会委託試験]

◎無処理比抑草率(0~100%)



低薬量除草効果②

(勘布時)

雑草(1~2.5葉) 〈散布日〉 2020年1月30日 〈調査日〉 2020年2月20日 〈試験場所〉 日本植物調節剤研究協会 研究所(茨城県)

〈芝品種名〉 コウライシバ 〈展着剤〉 ーファクタントWK(1000倍)加用

100 95 90 85 80 75 70 スズメノ カタビラ オランタ コハコベ アメリカ (%)

<u>Λ</u> 効果・薬害等の注意

- ・使用量に合わせ薬液を調製し、使いきる。
- ・芝生育休止期以外の時期には使用しない。なお、芝生育休止期とは、茎葉の 部に緑色が残っていても生育が停滞している時期を指す (薬害)
- ・周辺の作物に散布液が飛散しないように十分注意する(薬害)
- ・水田に流入すると、稲が枯れるので十分注意する(薬害)
- ・散布に用いた器具類は、タンクやホース内外に薬液が残らないよう使用後できる だけ早く水でよく洗浄し、他の用途に使用する場合の薬害の原因にならないよう に注意する。
- ・使用量、使用時期、使用方法を守る。特に初めて使用する場合は、病害虫防除所 等関係機関の指導を受けることが望ましい。

⚠ 安全使用上の注意

- ・眼に入らないように注意。眼に入った場合は直ちに水洗し、眼科医の手当を受け る。使用後は洗眼する(刺激性)
- ・公園などで使用する場合、散布区域に縄囲いや立て札をたて、散布中および散布後 (最小限その当日)に関係者以外は立ち入らせない。小児、人畜等に留意する。
- ・火災時は、適切な保護具を着用し水・消火剤等で消火に努める。・漏出時は、保護具を着用し掃き取り回収する。
- ・移送取扱いは、ていねいに行う。

魚毒性等…河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意 (藻類) 散布器具・容器の洗浄水は河川等に流さない。また、空袋は水産動植

物に影響を与えないよう適切に処理する。 管…密封し、直射日光をさけ、食品と区別して、冷涼・乾燥した所。

■使用前にはラベルをよく読んでください ■ラベルの記載以外には使用しないでください ■小児の手の届く所には置かないでください





🦳 レインボー薬品株式会社